

「21 夏 スキンケア ニーズ 総合調査」結果の報告

夏の悩みは「毛穴」「脂」「しみ」、紫外線・保湿・美白への関心が年々増加 若年層ではマスクトラブルが冬より減少

株式会社日本能率協会総合研究所（代表取締役社長：譲原正昭 本社：東京都港区）は、2021年8月に、15～69歳の女性を対象に、『21 夏 スキンケア ニーズ 総合調査』を実施いたしました。本調査は2003年から3年毎に冬・夏の年2回、継続的に実施しております。年代別比較のほか、時系列比較やコロナ禍前後の変化、夏冬の季節差などが分かります。調査結果がまとまりましたので、その一部をご紹介します。

Summary 1 : 2021年夏調査の特徴的な結果、および過去の夏調査との比較

◆夏の肌への関心、紫外線への警戒が約半数、保湿が増加。

紫外線を「非常に気にしている」と答えた人は47%と約半数。長年4割前後で推移していたところ、21年では5割弱に大きく伸長した。保湿を「非常に気にしている」人は09年→21年で20%増加し、44%。

◆美白を気にする10代、美白美容液の使用が増えた50代。

美白を「非常に気にしている」人は10代で最も高く45%、60代で最も低く17%。美白「美容液」の使用は、50代で最も高く33%、18年→21年で7%増加した。30代・40代も3割以上が使用しており微増。

◆洗顔での泡立てが肌のためにいい、と半数を超える。

お肌のために「洗顔料はよく泡立てる」ことを行った方がいいと思っている人は5割以上。以下「泡立てネットを使う」「シートマスクを使う」は3割以上、「美容液を毎日のケアに」「顔のマッサージ」「表情筋を鍛える」は3割弱と続く。

Summary 2 : 2021年1月実施した調査と夏・冬比較

◆夏の肌悩みは年代別に「ニキビ」⇒「毛穴」⇒「しみ」に変化。

10代では「ニキビ」「毛穴」関連の悩みが上位を占める。20代・30代では「毛穴」関連が上位に目立つ。特に「毛穴の広がり」「脂っぽい」は夏調査で冬調査より高まる傾向。40代～60代では「しみ・そばかす」が1位。

◆10代・20代のマスクによる肌荒れは、冬と比べて軽減。

「マスクによる肌荒れ」は冬調査の29%から、夏調査の24%と減少。10代では20%弱と大幅に減ったほか、20代も10%以上減少し、若年層での減少が目立った。一方30代～60代では夏冬の差があまりない。

【調査概要】

- ・調査対象：首都圏(東京・千葉・埼玉・神奈川)および近畿圏(大阪・兵庫)の15～69歳の女性
- ・調査方法：日本能率協会総合研究所「モニターリサーチ・システム」を利用したインターネット調査
(年代・属性を人口構成に割り当て抽出)
- ・有効回収数：2,000人
- ・調査実施日：2021年8月6日(金)～8月10日(火)

※〈18夏〉～〈03夏〉は各調査年の7～8月の調査、〈21冬〉は2021年1月の調査です。

《本件についてのお問い合わせ先》

株式会社 日本能率協会総合研究所 経営・マーケティング研究部 担当：土井・山口・荒木
〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22
TEL:03-3578-7607 FAX:03-3432-0109 E-mail:info_mlmc@jmar.co.jp

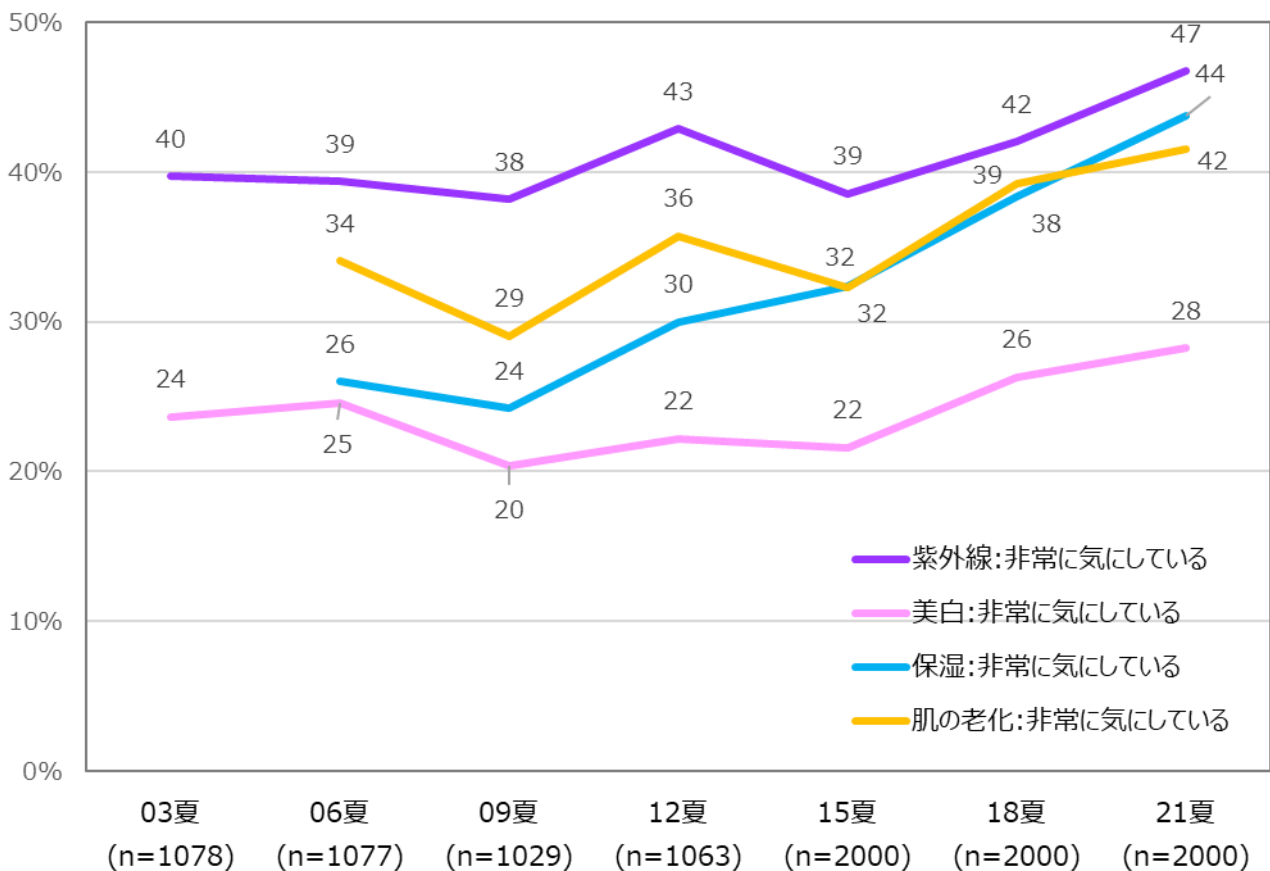
【2021年夏調査の特長的な結果、および過去の夏調査との比較】

Point! : 夏の肌への関心、紫外線への警戒が約半数、保湿が増加。

- ◆紫外線を「非常に気にしている」と答えた人は47%と約半数。長年4割前後で推移していたところ、21年の夏調査〈21夏〉では5割弱に大きく伸長した。
- ◆保湿を「非常に気にしている」人は09年→21年で20%増加し、44%。
- ◆肌の老化は09年から増加傾向で42%に、美白は15年から増加を続け28%になった。
- ◆紫外線・美白・保湿・老化といった肌への関心は、夏調査を時系列で比較して高まる傾向がうかがえる。

図表1 夏の肌への関心

「Q. あなたは紫外線を気にしていますか。」「Q. あなたは「美白」を気にしていますか。」
 「Q. あなたは「保湿」を気にしていますか。」「Q. あなたは「肌の老化」を気にしていますか。」(単数回答)
 「非常に気にしている」～「全く気にしていない」と5段階で聞いたうちの、「非常に気にしている」の回答



Point! : 美白を気にする 10 代、美白美容液の使用が増えた 50 代。

- ◆ 美白を「非常に気にしている」人は 10 代で最も高く 45%、60 代で最も低く 17%と、若いほど関心が高い。18 年→21 年で比較すると、60 代で 5 割以上増加、30 代でも 5 割弱増加して 33%に。
- ◆ 使っている美白化粧品は「化粧水」「美容液」がともに約 3 割。
- ◆ 美白「美容液」は、50 代で最も高く 33%の使用、18 年→21 年で 7 割増加した。30 代・40 代も 3 割以上が使用しており微増。
- ◆ 美白に関心が高い 10 代は、美白「化粧水」の使用率は各年代中最も高いが、美白「美容液」の使用率は低い。

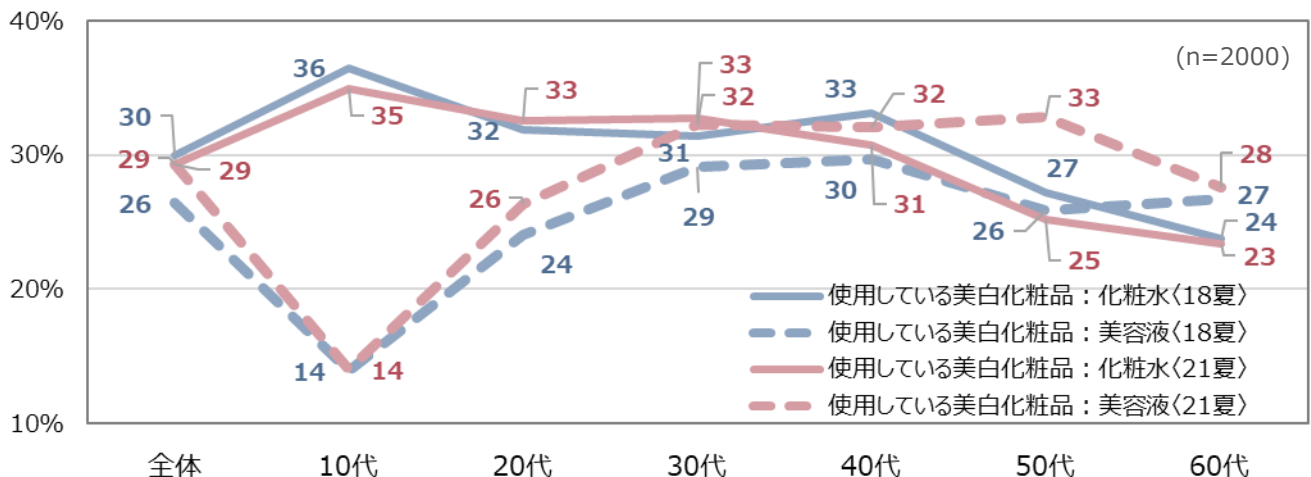
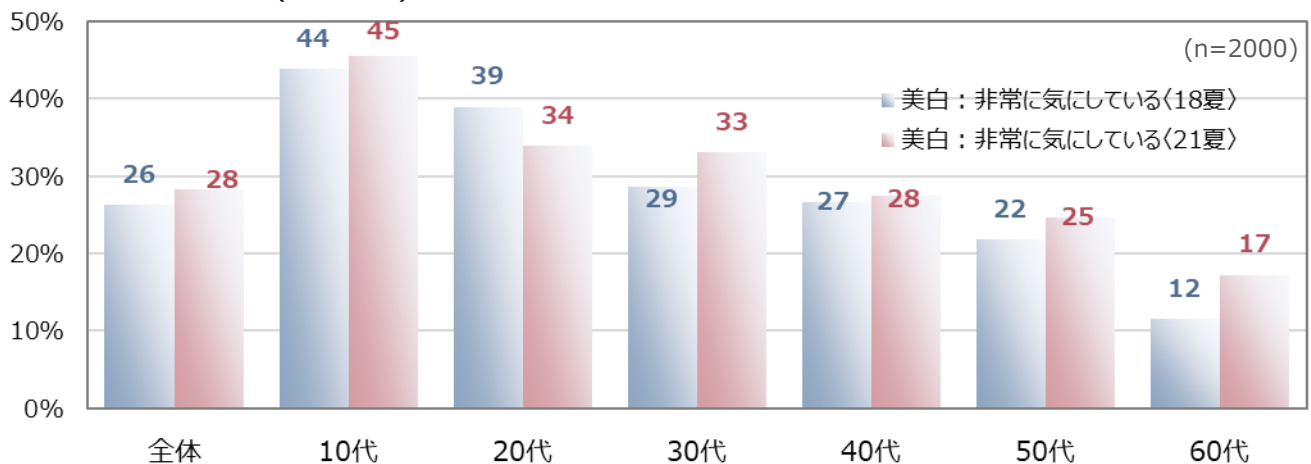
図表 2 美白意識と美白美容液の使用率

「Q. あなたは「美白」を気にしていますか。」(単数回答)

「非常に気にしている」～「全く気にしていない」と 5 段階で聞いたうちの、「非常に気にしている」の回答

「Q. あなたは、美白効果のある化粧品（美白化粧品）を、何か使っていますか。」

12 の選択肢を提示(複数回答)したうち、該当選択肢の回答

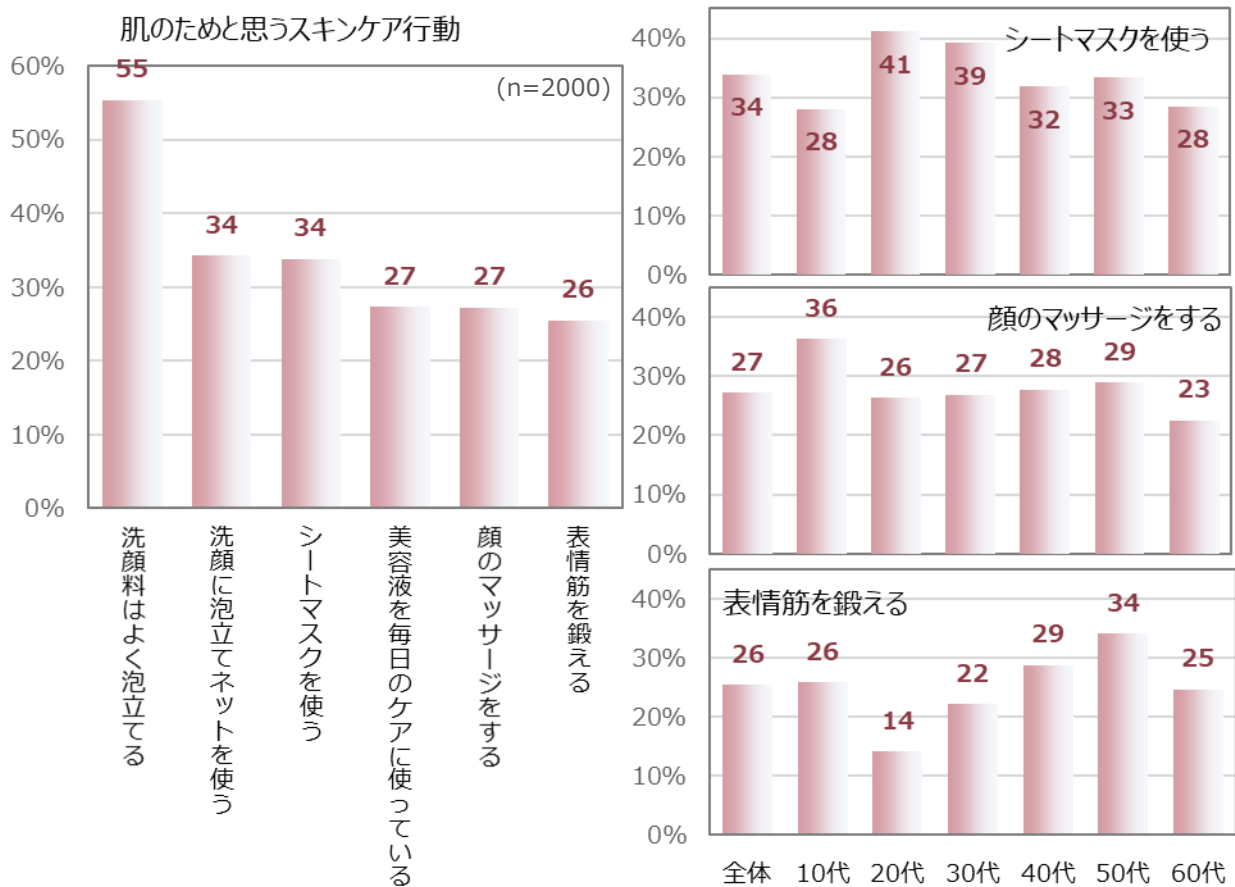


Point! : 洗顔での泡立てが肌のためにいい、と半数を超える。

- ◆ 今回の 21 年夏調査で、お肌のために「洗顔料はよく泡立てる」ことを行った方がいいと思っている人は 5 割以上。以下「泡立てネットを使う」「シートマスクを使う」は 3 割以上、「美容液を毎日のケアに」「顔のマッサージ」「表情筋を鍛える」は 3 割弱と続く。
- ◆ 「シートマスクを使う」は 20 代・30 代で多く、約 4 割。「顔のマッサージをする」は 10 代で 36%と最も多い。「表情筋を鍛える」は、50 代で 34%と最も高い。

図表 3 肌のためと思うスキンケア行動

「Q. 次のうち、あなたが、お肌のためには行った方がいいと思っていることはどれですか。実際に行っているかどうかにかかわらず、あなたの考えにあてはまることをすべて選んでください。」19 の選択肢を提示(複数回答)



【2021年1月に実施した冬調査との夏・冬比較】

Point! : 夏の肌悩みは年代別に「ニキビ」⇒「毛穴」⇒「しみ」に変化。

- ◆10代では「ニキビ」「毛穴」関連の悩みが上位を占める。5位の「脂っぽい」は夏調査<21夏>の方が冬調査<21冬>より7%高い。
- ◆20代・30代では「毛穴」関連の悩みが上位に目立つ。特に「毛穴の広がり」「脂っぽい」は夏調査で冬調査より高まる傾向。
- ◆40代～60代では「しみ・そばかす」が1位。40代では30代以下同様、「毛穴」関連もランクイン。冬調査に50代・60代で1位だった「ほうれい線」や、「肌のたるみ」は、夏調査では減少が目立った。

図表4 年代別：夏の肌悩み ベスト5

「Q.次のうち、あなたの夏のお肌（顔全体）で、気になることをあげてください。」

42の選択肢を提示(複数回答)したうち、<21夏>の上位5項目 (<21冬>は比較として<21夏>の上位5項目と同じ選択肢を掲載)

	10代の肌悩み		20代の肌悩み		30代の肌悩み				
	21夏 (n=143)	21冬 (n=143)	21夏 (n=289)	21冬 (n=289)	21夏 (n=357)	21冬 (n=357)			
1位	ニキビ・吹き出物	66	66	毛穴の黒ずみ	53	52	毛穴の黒ずみ	51	46
2位	毛穴の黒ずみ	64	59	毛穴が目立つ	52	45	毛穴が目立つ	50	49
3位	毛穴が目立つ	46	47	ニキビ・吹き出物	52	54	しみ・そばかす	43	42
4位	ニキビ跡のしみ・色素沈着	43	44	脂っぽい・てかり	36	26	毛穴の広がり	39	32
5位	脂っぽい・てかり	42	35	毛穴の広がり	34	30	脂っぽい・てかり	35	18

	40代の肌悩み		50代の肌悩み		60代の肌悩み				
	21夏 (n=465)	21冬 (n=465)	21夏 (n=369)	21冬 (n=369)	21夏 (n=377)	21冬 (n=377)			
1位	しみ・そばかす	55	52	しみ・そばかす	60	59	しみ・そばかす	56	51
2位	毛穴が目立つ	40	39	ほうれい線	53	61	ほうれい線	55	61
3位	ほうれい線	38	47	肌のたるみ	47	55	肌のたるみ	47	53
4位	毛穴の黒ずみ	33	29	目元のたるみ	38	*	目元のたるみ	38	*
5位	肌のたるみ	32	36	ハリがない	36	38	首のしわ・小じわ	33	36

*「目元のたるみ」は<21夏>に追加した選択肢

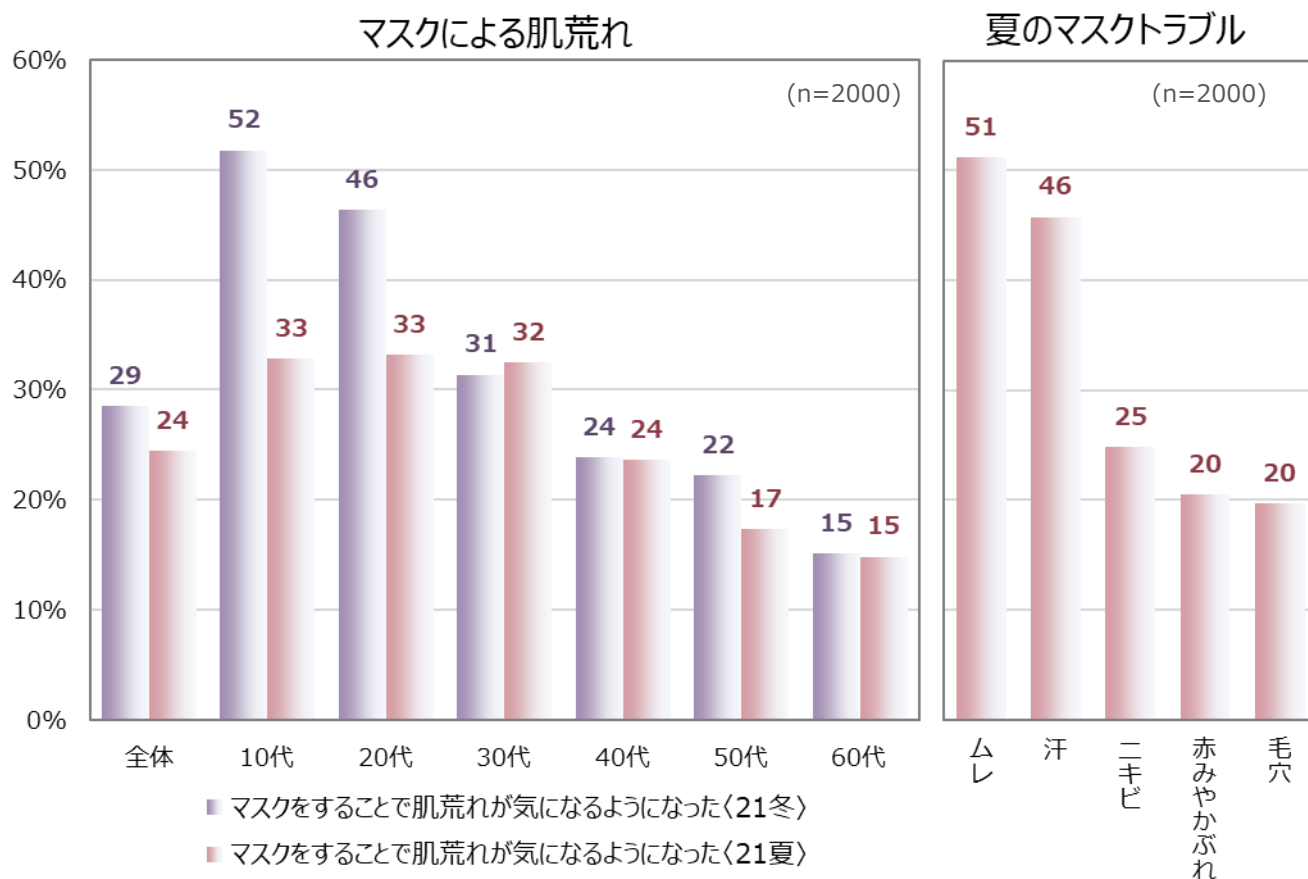
Point! : 10代・20代のマスクによる肌荒れは、冬と比べて軽減。

- ◆「マスクによる肌荒れ」は21年1月に実施した〈21冬〉の29%から、8月〈21夏〉の24%と減少した。
- ◆年代別に夏冬を比較すると、10代では20%弱と大幅に減ったほか、20代も10%以上減少し、若年層での減少が目立った。
- ◆一方、30代～60代では夏冬の差があまりない。30代は夏調査の10代・20代と同水準の3割強であるが、40代2割半、50代2割弱、60代1割半と、加齢とともに低くなる。
- ◆夏のマスクトラブルは「ムレ」51%、「汗」46%と、夏特有の現象が約半数となった。以下は「ニキビ」「赤みやかぶれ」「毛穴」が2割台で続く。

図表5 「マスクによる肌荒れ」と「夏のマスクトラブル」

「マスクによる肌荒れ」：「Q. スキンケア（顔のお手入れ）や、化粧品について、コロナ禍をきっかけに、何か変化がありましたか。あてはまるものをあげてください。」（複数回答）の該当選択肢の回答

「夏のマスクトラブル」：〈21夏〉で「Q. 日常的にマスクを着用することで、気になるようになったことはありますか。」12の選択肢を提示（複数回答）、上位5項目



『21 夏 スキンケア ニーズ 総合調査』は、女性の肌ニーズ・基礎化粧品の使用実態を総合的に捉える調査です。女性の肌や基礎化粧品に対する意識と実態を探り、どのような人が、なぜ、何を意識し、どの化粧品を使っているのかを明らかにするため、下記項目について調査しました。

『21 夏 スキンケア ニーズ 総合調査』の調査内容

- 1) 肌ニーズの実態
 - ①肌タイプ
 - ②夏の肌悩み（気になること／改善したいこと）
- 2) 夏の肌ニーズとスキンケア
 - ①紫外線意識とUVケア化粧品
 - ②美白ケアと美白化粧品
 - ③乾燥ケアと高保湿化粧品
 - ④老化意識とアンチエイジング化粧品
- 3) スキンケア化粧品の選択
 - ①スキンケア化粧品ブランド
 - ②スキンケア化粧品の選び方
 - ③コロナ禍をきっかけにしたスキンケアの変化
 - ④日常的にマスクを着用することで気になるようになったこと
- 4) スキンケア化粧品の使用・購入実態
 - 1.「クレンジング用」化粧品
 - 2.「洗顔用」化粧品
 - 3.「水分補給用」化粧品(化粧水など)
 - 4.「栄養分補給用」化粧品(乳液・クリームなど)
 - 5.「スペシャルケア用」化粧品
 - ①使用頻度
 - ②購入チャネル
 - ③使用ブランド
 - ④購入単価
 - ⑤購入理由
 - ⑥使用理由
 - ⑦期待する効果
- 5) ライフスタイルとスキンケア行動
 - ①お金と時間のかけ方
 - ②スキンケア行動と使用ステップ

〈03 冬〉〈03 夏〉〈06 冬〉〈06 夏〉〈09 冬〉〈09 夏〉〈12 冬〉〈12 夏〉〈15 冬〉〈15 夏〉〈18 冬〉〈18 夏〉〈21 冬〉に「スキンケアニーズ総合調査」を実施しており、今回の調査は 14 回目となる継続調査です。また、本リリースでピックアップした項目以外にも、多岐にわたる項目がございます。

【調査購入のご案内】

本調査は、弊社自主企画による調査に複数企業にご参加いただく方式で実施し、以下のアウトプット一式を提供いたします。

・『21 夏 スキンケア ニーズ 総合調査』のアウトプット

- (1) 調査報告書：A4 判・109 頁・2021 年 9 月発行
- (2) 集計データ (CD-ROM)：クロス集計、ローデータ、他一式

・『21 夏 スキンケア ニーズ 総合調査』の購入費用

- 定価 520,000 円 (税別) ・M D B メンバー価格 470,000 円 (税別)
※『21 冬 スキンケアニーズ総合調査』とのセット価格有り
セット価格 定価 840,000 円(税別)・M D B メンバー価格 800,000 円(税別)

※本調査の成果物の著作権は (株) 日本能率協会総合研究所が保有します。

※弊社は、本調査に購入いただいた企業 (法人・個人) 以外には、成果物を提供いたしません。ただし、本調査を告知するための限定的な利用、及び発刊から一定期間経過後はこの限りではありません。

※本調査の成果物のご利用は購入いただいた企業 (法人・個人) の内部でのご利用のみに限らせていただきます。

《本件についてのお問い合わせ先》

株式会社日本能率協会総合研究所 経営・マーケティング研究部 担当：土井・山口・荒木
〒105-0011 東京都港区芝公園 3 - 1 - 2 2
TEL:03-3578-7607 FAX:03-3432-0109 E-mail:info_mlmc@jmar.co.jp

本件引用の際は、お手数ですが、上記あて掲載紙をご送付ください。